

令和3年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	「北陸地域の活性化」に関する研究助成事業	事業経緯	継続	実施体制	主催	担当所属	企画事業部
事業名 (大項目)	調査研究及び研究助成事業	分類名 (中項目)	北陸地域の活性化に関する研究助成事業	事業区分	助成(応募型)		

1. 事業目的

近年、地域の課題は地域で解決しようとさまざまな取り組みが進められている。北陸地域においても、これまで以上に地域づくりのあり方が問われ、地域の保有する多様な資源やノウハウを活用して地域の活性化を図ることが求められている。このため、地域における問題意識を共有した上で、地域に住む人々の英知や発想を活かし、多様な研究や活動を支援することにより地域の自立と活性化を促進する目的で実施する。

2. 事業実施体制

主催：(一社)北陸地域づくり協会

3. 事業実施概要

◆第25回事業報告書作成

- ・令和2年度に完了した事業の報告書を当会ホームページに掲載
- ・令和3年度に完了した事業は以後、当会ホームページに掲載
- ※コロナ禍に伴い、令和2年度完了を必須としなかったため

◆第26回事業報告会

- ・18事業のうち15事業が事業を完了したが、報告会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

◆第27回事業募集・審査会

- 募集期間：令和3年12月1日～令和4年1月31日
- 審査日時：令和4年3月10日(木) 10:00～12:00
- 審査場所：アートホテル新潟駅前
- 審査委員長：鈴木聖二委員長ほか6名
- 選定件数：「地域づくり研究事業」(書類審査のみ) 14件／応募33件
- 「技術開発支援事業」(書類審査のみ) 3件／応募6件
- 「技術開発共同研究」(書類+プレゼン審査) 2件／応募4件

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

平成7年度の事業開始以来、第1回～26回で351課題に対し助成を行ってきた。その中には、助成を契機に組織を発展・継続させて地域づくりに尽力している団体や、地域・国・海外から表彰される取り組みもあり、本事業は一定の効果を挙げている。平成28・29年度は試験的に地域づくりセミナーを行い、活動課題の解決策をアドバイザーと考える場を設け、一歩踏み込んだ支援をし、地域ブランド製品の開発につながった。

研究者からは、「助成金は、事業の立ち上げ時期や新たな事業への挑戦期の貴重な資金となっている」、「事業を通して得たネットワーク、事業の成果の発信はその後の研究活動の財産となっている」などのご意見をいただいている。

■第26回助成対象事業例



寺泊を考えるためのワークショップ
(長岡造形大学)



住宅浸水直後の行動手順書づくり
(信州大学)

六斎市調査
(NPO法人 新潟みなとクラブ)



雁木町家のある高田をつなぐマガジン『つぎつぎ』
(一社)雁木のまち再生



第27回審査委員会



「技術開発共同研究」のプレゼンテーションはリモートで実施